



三木高大 自治会新聞

平成 29 年 4 月号 (No.132)

発行 三木市高齢者大学学生自治会
発行責任者 自治会会長 小林 敏之
編集者 自治会新聞編集委員会
発行日 平成 29 年 4 月 18 日
<http://koureisyadaigaku.cccp.jp>

自治会会長就任あいさつ

39 名の新入学生の皆様、改めてご入学おめでとうございます。心から歓迎いたします。毎年、卒業された先輩方々は「高大生活が楽しかった」、「色々と充実したものがあつた」と卒業文集「生きがい」に書き残しておられます。きっとその日が在校生の皆様と共にくることを願っております。

私は、平成 29 年度自治会総会において承認を受け、会長に就任しました。当大学では、一般の大学とは異なり、学生自治会が主体で学校行事に取り組んでおり、年間スローガン「楽しく学んで和気藹藹」の下、学生の心と心の「和」と、人と人の「輪」をもって活動してゆかなければいけない事に責任と細心の注意が必要な事を痛感しているところです。楽しい学生生活が送れるように、改めるべき問題・課題が出たときには全学生や各学年役員・実行委員が協力しあって良い方向へ進める道を探して行きたいと思っておりますので、皆さまのご協力を宜しくお願い致します。

5 月には、春季スポーツデー（グラウンドゴルフ大会）があります。みんなで一緒に楽しみましょう。



自治会会長 小林 敏之

3月の教養講座

めざせ幸齢者 ～元気で豊かな人生を送るコツ～
Motto ひょうご事務局長 栗木 剛 様

自分のため、社会のため、いかにうまく歳をかさねていかなければならないか、笑いの中で先生の話が始まりました。

私たちが今置かれている社会は高齢化が進み、3人に1人が60才以上という現実がある。また、核家族化が進み、「老後は自分のことは出来るだけ周りに迷惑をかけないで生活する」、という風潮がある。しかし、高齢化に伴う大きな問題は認知症である。現時点で根治できる治療法はないが、認知症は日常生活の在り方で、ある程度効果的に防止できると言われている。そのためには、多くの人と会話する、市民活動をする、ボランティア活動をする、趣味のグループで活動をするなどして脳に刺激を与える。限られた範囲の中で同じ行動をするのではなく、行動範囲を広げていつもと違うことをするよう心がける。また、日常的な当たり前なことにも関心を向け、興味を持って考えてみることも必要である。

人それぞれの立場や考え方もあるが、地域との交わりによって自らも社会のためになる。そのためには、努力して長く健康を維持しなければならない。私も今、いろいろな方達とふれあい、笑いの中で元気をもらっている。改めて、これからの自分のあり方について考えさせられた1日でした。



2年2班 戸田 秀隆

春季スポーツデーのご案内

平成 29 年度の春季スポーツデーの種目は、本年もグラウンドゴルフと決定されました。本年度で 13 回目となります。

グラウンドゴルフは誰にも勝つチャンスのあるスポーツで、年齢、性別、体力、運動能力などで、プレーの結果に大きく影響されないよう工夫され、開発されたスポーツです。最近では、高齢者の手軽なスポーツとして、着実に愛好者が増えつつあります。

初めての方は、一度経験をされることを、また、長年親しんでいる方はゲームの奥行きを改めて認識し精進され、良い成績をとられるよう期待します。

現在、参加者を募集中です。多数のご参加をお待ちしております。

- | | | |
|--------|--|----------------|
| ① 日 時 | 5月19日(金) | 雨天の場合は6月16日(金) |
| ② 会 場 | 三木グリーンパーク | グラウンド |
| ③ ルール | 日本グラウンドゴルフ協会のルールに準ずる | |
| ④ 競技方法 | 例年に準ずる 午前、午後の2回の合計スコアで競争 | |
| ⑤ 賞 | ・団体戦 (学年別対抗) 上位10名の合計点
・個人戦 優勝、準優勝はじめ飛び賞他あり | |
| ⑥ その他 | ローカルルール、順位決定方法などの詳細は当日までに発表します | |

春季スポーツデー実行委員長 3年3班 中村 安孝

専門講座だより

郷土史を受講して

退職して2年経過した平成26年より100名城を目標に、城巡りツアーに参加し始めました。退職前に10の城、最近3年間で30城ほど巡って来ました。その中で特に感動したのが次の三大山城です。

① 岩村城(標高717m)：岐阜県伊那市、1185年加藤氏築城、明治維新まで城主は変わり、最後は松平氏で廃城になり城郭のみ。

② 高取城(標高583m)：奈良県高市郡高取町、1322年越智氏築城。

③ 備中松山城(標高430m)：岡山県高梁市、1240年秋庭氏築城。明治の廃藩置県で廃城になり民間に払い下げられ、そのまま放置されていましたが、昭和14年地元の有志の方々の発案で大修理がおこなわれ修復された城です。その当日の様子は後々まで語りつがれ、先日もテレビで放映されました。

昨年より、宮田逸民先生の9回の講義で藤原惺窩、三木城の歴史、三木合戦、竹中半兵衛と黒田官兵衛、別所一族、三木市内の城、秀吉の家臣団について学び、中島元亮先生には三木市四方山話、細川地区探訪、小川谷探訪について3回の講義を受け、廣井先生より三木市に400基もの古墳が存在し、兵庫県には全国一の18,841基もあるという話を聞きました。郷土史の講義はいつも引き込まれる話ばかりです。

三木市吉川町の学生として、未だ三木城には立っていませんが近々行く予定です。

今後も地域の歴史に興味を持ち続けたいと思います。



4年4班 栗山 敏行

1年生の夏休み前に、「青春18きっぷを使って、どこかに行きませんか？」と副会長から提案があり毎年、夏・冬・春の3回発売され、(1枚で最大5人まで同時に使え、141km以上の旅程で得になる)今、鉄道は人気があり、撮り鉄・乗り鉄・降り鉄・駅鉄等、色々な鉄ちゃんがおられますが、こちらは面倒くささも、時間厳守もあり、全然利用した事も無かったのですが、「青春18きっぷ」というネーミングの良さと、いつまでも青春の心を持ち続けるとの気持ちから計画に参加することにしました。



第1回は、夏休みを利用して倉敷へ、美観地区・大原美術館・白壁土蔵造りの街並みを散策し、新しいギャラリーを覗いたりして楽しい1日を過ごすことが出来ました。

今後もいい旅のプランを考えて欲しいとの事で、第2回は2年生になった8月に行くことになりました。琵琶湖がいいのではないかと秀吉公ゆかりの長浜城へ。秀吉が城主として過ごした長浜城は廃城になり、その後には僅かな石垣と井戸だけが残されていましたが、昭和58年に復元され、内部は歴史博物館として公開されています。郷土料理「焼きサバそうめん」を食べ、黒壁スクエアへ黒壁スクエアと言えばガラス館、他にはオルゴール館等覗いて回れば面白い。

第3回、今年に入り雪が見たい！と3月1日「雪？琵琶湖一周の旅」を計画しました。三ノ宮駅



ザゼンソウ

8:52 出発、近江今津 10:36 下車、そこからバスに乗り緑地環境保全地域に指定されているザゼンソウ群生地へ、山々は雪を冠り大変きれいな景色だった。余呉湖を見ながら木之本へ。「駅からは意外や近い」日本三大地蔵の一つと言われる大きなお地蔵さま。「目の仏さま」木之本地蔵院にお参りし、徳川四天王の一人井伊直政の居城彦根へと向かい、彦根城ではひこにゃんに迎えられ、お城を見て帰路につきました。

次回は、瀬戸大橋を列車で渡りこんぴらさん(金刀比羅宮)参拝か、和歌山の湯浅の旅を考えています。



3年1班 井上 正之

こんな本「逝きし世の面影」

日本は「子どもの楽園」であった

この本は、明治末期以前に日本を訪れた外国人が書き残した数多くの記録を、著者(渡辺京二氏)が精査・分析・分類し、わが国が近代化することによって失ってしまった文明の姿を追い求めるために、まとめたものである。

内容は多岐にわたっているが、中でも外国人が驚いたのは、いたるところで子どもたちの笑い声が聞こえ、健康で、生きる喜びに輝いており、魅せられるほど愛らしい。大人も子ども達と一緒に遊び、深い愛情が注がれている、ということであった。日本に好意的でない外国人でも「日本の子ども達に魅了されない西洋人はいない」。まさに、日本は「子どもたちの楽園」だといっている。かって、この国の子どもたちが、このように可愛く輝いていたということは、今日の私たちの胸を熱くさせるものがある。



少子化により日本の将来が心配されるなか、毎日のように子どもに関わる事件や事故が報道されている。また、今や近所の広場や公園で子ども達が賑やかに遊ぶ声は聞かれなくなり、閑散として寂しい。一方で、幼稚園で遊ぶ子ども達の声が「騒音」の扱いを受けるなど、子どもの受難時代となっているようにさえ思われる。かつて美しい文明を作ってきた日本はどこへ行ってしまったのだろうか。

2年1班 幸岡 義信

ク ラ フ 紹 介

パソコンクラブ

パソコンで楽しい高大生ライフを！

手書きでしか書けなかった文章が、活字で表現できる。

ワープロの出現によりビックリした事が、文章作成ソフトの出現により、パソコンでできるようになった。現在はその文章上に絵を描くことも可能となった。

表作成ソフトのエクセルでも、同じ事ができます。エクセル、ワードを使って仕事をしてきた私にとっては、「何てことだ、遊んでいるようではないか。」とビックリの毎日です。

パソコン時代の真ん中であって、インターネットの環境があり、ネットサーフィンを自由に出来た人にとっては、何の事も無いでしょう。しかし、初めてパソコンに触れる人にとって、スイッチはどれ？ どこにあるの？ あれっ、勝手に動き出した、Windows の文字が現れても、ドキドキするばかりです。

高齢化時代の入口にたたずんでいる我々にとっても、パソコンは避けて通れません。提出しなければならない書類も、Eメールで提出してくださいと真顔で言われる。買い物、懸賞の応募、確定申告等も出来ればパソコンでお願いしますとなる。メールアドレスの交換で、友達となるキッカケになります。

パソコン時代に取り残されない様に、パソコンクラブに入部しませんか？ 少しの努力は必要ですが、今まで出来なかった事が出来るようになります。パワーポイントをつくり、ホームページを開設するなど、自己表現の場が広がります。

楽しい高大生ライフが待っているかもしれません。

パソコンクラブ部長 4年5班 小阪 信之



写真クラブ

感動を表現し 魅せる写真を！

カメラを掲げて 野へ山へ
春夏秋冬 四季彩々
レンズ通して 新たな発見
一瞬の出会い 暫し茫然



視線を変えれば 世界も変わる
晴雨風雪 光彩光芒
チャンス逃さず 瞬間を撮る
魅せる写真 感動表現

昨今の観光地では、何か騒がしい集団を目の当たりにするが、会話が良く理解できない。思い思いにシャッターを切っている。所かまわず“自撮り”も見受けられる。

近年は“スマホ”という便利なものが幅を利かせているらしい。スマホでスマホうっている人が多く出現。カメラを持って出かける人は、年々減少してきたようだ。高大での活動記録はどうするの？ 全校行事・学年行事・親睦会等々の記録・記憶・アルバム作りはどうするの？ スマホで済ませるの？

写真は撮られても撮るのは苦手、アルバム作りは人任せ。「だってピンボケやブレブレの写真しか撮れないモン」と豪語(?)している“あ・な・た”。写真クラブで技術を磨きませんか。ワンランクアップの写真を撮りませんか。今からでも遅くはない。高価なカメラも要りません。コンパクトカメラでOKです。感動を表現し、魅せる写真を撮りましょう！

平成8年創部の伝統を誇る写真クラブでは、皆様の入部をお待ちしています。

写真クラブ部長 4年1班 八木 義明